

# いのち 生命のメッセージ展

in 敦賀 2026

# 25

ANNIVERSARY

未来へ手渡すいのちのメッセージ



「生命のメッセージ展」は今年で25周年を迎えます。突然の事故や事件などで大切な家族を失った遺族が「その人が生きた証」を伝える展示です。一人ひとりの物語はいのちの尊さやいのちを支えあうことの意味を静かに語ります。

亡き人の想いに触れいのちについて一緒に考えてみませんか。25周年を迎えたいまも私たちはいのちを大切にすることを願いながら歩み続けています。

2026年

4月11日 (土)  
12日 (日)

10:00 ~ 17:00

9:00 ~ 15:00

会場：きらめきみなと館

福井県敦賀市桜町1番1号

■JRをご利用の場合

「JR敦賀駅」で下車

駅前より、タクシー、バスをご利用ください

■自家用車の場合

北陸自動車道「敦賀IC」より、車で約10分

4/11 (土)

13:00 ~

公益財団法人社会貢献支援財団会長

基調講演 安倍昭恵氏

1962年東京生まれ。聖心女子専門学校卒業。電通勤務を経て第90.96.97.98代内閣総理大臣安倍晋三氏と結婚。

その後立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科を修了。ライフワークとしてミャンマーの学校支援、農場運営など教育と食の振興に力を入れている。

先着200名様

こちらから事前のお申し込みが必要です



4/12 (日)

11:00 ~

講演 古崎倫太郎氏

2001年福井県生まれ。下肢障がいを持ち、小学校2年生から車いすバスケットボールを始める。15歳で、U23日本代表に選出、以降、同世代の国際大会日本代表として活躍。現在、連盟強化指定選手。2020年、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社入社。



開催にあたって

「生命のメッセージ展」の開催につきまして、心より感謝申し上げます。このような意義深いメッセージ展において、生命の尊さや大切さについて考える機会を持つことを大変嬉しく思っております。

このメッセージ展は、事件や事故の悲惨さ、それによって失われる生命の重さを再認識できる貴重な場であり、より良い社会を築くためには、個々の生命の価値を大切に、共に支え合い、理解し合う姿勢が求められます。一人でも多くの方がこのメッセージ展を通じて、生命の大切さについて改めて考えるきっかけとなり、各々の家庭や地域での安全確保の意識が広まることによって、多くの方が安全で安心な日々を過ごせることを願っております。

敦賀市長 米澤 光治

主催：生命のメッセージ展in敦賀実行委員会 特定非営利活動法人いのちのミュージアム

共催：敦賀市

協力：アート引越センター 有限会社敦賀ファミリー保険

後援：文部科学省・法務省・国土交通省・厚生労働省・警察庁・福井県警察本部・敦賀警察署・敦賀市教育委員会・敦賀交通安全協会

敦賀活性化支援協議会・福井新聞社・福井テレビ・FBC・(株)嶺南ケーブルネットワーク・ハーバーステーション・福井被害者支援センター

あいおいニッセイ同和損害保険(株)・三井住友海上あいおい生命保険会社(株)・ナスバ(独立行政法人自動車事故対策機構)・福井電力株式会社

## Time Schedule

11日  
(土)

### 10:00～ 開会式 (大ホール)

開会あいさつ (生命のメッセージ展in敦賀実行委員会 代表 清水正富)  
来賓あいさつ  
メッセンジャーの紹介

### 13:00～15:30 25周年記念講演会 (小ホール)

来賓あいさつ  
基調講演 安倍昭恵氏 (公益財団法人社会貢献支援財団 会長)  
活動報告

- ・中村晃一郎氏 (ナスバ 独立行政法人自動車事故対策機構 理事長)
- ・佐久間貴史氏 (株式会社 アイシン福井)
- ・江角由利子氏 (生命のメッセージ展参加家族)
- ・清水正富 (有限会社敦賀ファミリー保険 取締役会長)

生命のメッセージ展の25年間の活動紹介

閉会あいさつ (いのちのミュージアム代表理事 鈴木共子)



申し込みフォーム

12日  
(日)

### 11:00～講演会 (小ホール)

古崎倫太郎氏 (あいおいニッセイ同和損害保険株式会社所属  
車いすバスケットボール元U-23日本代表・現連盟強化指定選手)



### 子ども広場もあるよ

お菓子釣りコーナー  
交通安全クイズ

みんなできてね



### 生命のメッセージ展とは・・・

犯罪・事故・医療過誤・一気飲ませなどによって理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。

犠牲者ひとりひとりの等身大のパネルはメッセンジャーと呼ばれ、その胸元には本人の写真や家族の言葉を貼り、足元には「生きた証」である靴を置いて命の大切さを伝えています。

無念にも亡くなり、生きたくても生きられなかったメッセンジャーたちの思いを伝え、「加害者も被害者も生まない、いのちが守られる社会」の実現を夢見ています。

つながれ つながれ いのち

いのちの思いをつないで そして 未来へ

お問い合わせ：いのちのミュージアム事務局  
080-5373-9842  
admin@inochi-museum.or.jp

